

2020年10月30日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2020年秋)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

○ 佐賀県の景気は、弱さが残るものの、持ち直しつつある。

最終需要の動向をみると、個人消費は、緩やかに持ち直している。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、増加している。公共投資は、増加している。

こうした中で、生産は、持ち直しの動きがみられている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症の動向が当地の企業や家計のマインドに与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回(2020年夏)	今回(2020年秋)
景気全体		持ち直しの兆しがみられるものの、全体としては弱い動きが続いている。	弱さが残るものの、持ち直しつつある。
需要項目	個人消費	持ち直しつつある。	緩やかに持ち直している。
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
	公共投資	着実に持ち直している。	増加している。
	設備投資	増加している。	増加している。
生産		弱い動きとなっている。	持ち直しの動きがみられている。
雇用・所得		労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。	労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

2. 個人消費

- 個人消費は、緩やかに持ち直している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店・スーパー売上高	持ち直している。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直しつつある。
耐久消費財	家電販売	増加している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	持ち直しつつある。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行は、海外向けは大幅に減少した状況が続いているものの、国内向けでは持ち直しの動きがみられている。 観光面は、厳しさが残るものの、持ち直しつつある。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、弱い動きとなっている。

4. 公共投資

- 公共投資は、増加している。

2020年7月～9月の公共工事請負金額は前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、増加している。

法人企業景気予測調査（2020年7～9月期調査）における2020年度の設備投資は、製造業・非製造業ともに前年を上回る計画となっている。

6. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直しの動きがみられている。

▽主要業種の生産動向

食 料 品	持ち直しつつある。
化 学	弱めの動きとなっている。
電 気 機 械	持ち直している。
電子部品・デバイス	高水準で推移している。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
有効求人倍率は、横ばい圏内で推移している（8月：1.04倍）。7月の雇用者所得総額¹は、一人当たり現金給与総額の減少を主因に前年を下回った（7月：▲7.9%）。

8. 物価

- 9月の消費者物価（佐賀市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（9月：＋0.1%）。

9. 金融²

- 9月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った（9月：＋9.9%）。
- 9月の貸出残高をみると、法人向けを中心に前年を上回った（9月：＋5.1%）。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額（名目）<ともに事業所規模5人以上>」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く）の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「長期時系列一覧」参照。